

エコアクション21

環境経営レポート

活動期間：2023年4月 ～ 2024年3月



発行日：2024年 7月 3日



株式会社 三井エア・テック

MITSUI AIRTEC

目 次

1.	組織の概要		P1
2.	実施体制		P2
3.	環境経営方針		P3
4.	環境経営目標		P4
5.	環境経営目標の実績と評価、次年度の取組内容		P5
6.	環境経営計画の取組状況とその評価		P6
7.	環境活動状況報告		P7
8.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無		P8
9.	代表者による全体の評価と見直し・指示		P9

1.組織の概要

① 事業者及び代表者名

株式会社 三井エアーテック

代表取締役 三井 肇

② 所在地

本社工場 〒870-0301 大分県大分市大字日吉原1番地の35

福岡事業所 〒816-0921 福岡県大野城市仲畑2-12-1

③ 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者 代表取締役 三井 肇

担当者 総務課

TEL：097-593-3055 FAX：097-593-3390

メール：info@mitsui-airtec.co.jp

④ 事業内容

- ・ 管工事業 大分県知事許可（特-3）第7958号
- ・ 空調用ダクト製造及び施工

⑤ 事業規模

資本金 3,000万円

社員数 29名（2024年7月3日現在）

延床面積	本社工場	1,600 m ²
	福岡事業所	631 m ²

⑥ 事業年度

9月～翌8月

⑦ 環境年度

4月～翌3月

⑧ 対象範囲

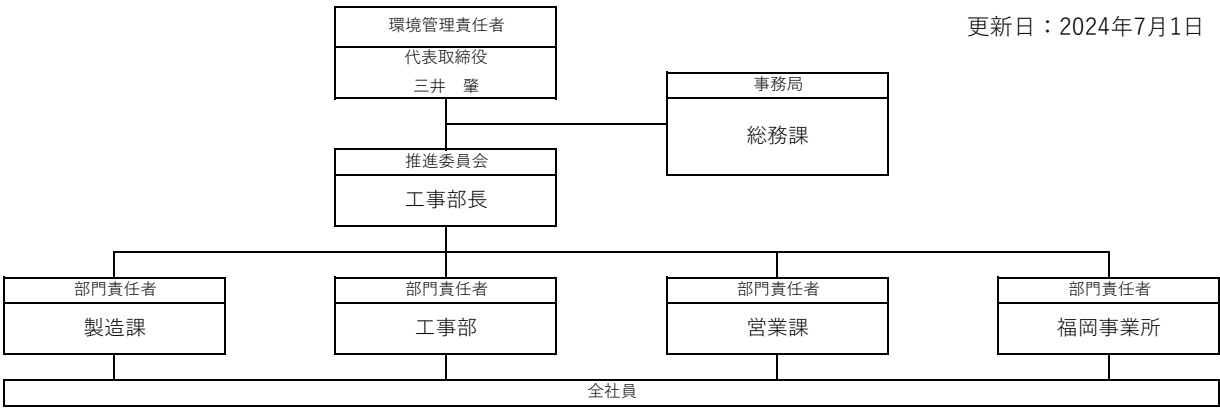
全組織・全活動

2.実施体制

① エコアクション21組織図

作成日：2022年4月1日

更新日：2024年7月1日



②エコアクション21の役割・権限・責任

	役割・権限・責任
代表者	・環境経営に関する統括責任者 ・環境経営に必要な経営資源（人・物・資金）を準備する ・環境経営管理責任者の指名 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針を定める ・環境経営目標及び環境経営活動計画、実施体制を定める ・代表者による全体の評価と見直しを実施する ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する ・エコアクション21推進委員会の責任者 ・環境経営関連法規の取りまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認 ・環境経営目標及び環境経営活動計画、実施体制の確認 ・環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認 ・問題点の是正及び予防措置の承認 ・環境経営レポートの確認
事務局	・環境経営管理責任者の補佐、エコアクション21推進委員会の事務局 ・環境関連文書、記録の管理 ・環境経営活動に関する実績の取りまとめ ・外部環境コミュニケーションに関する窓口 ・環境経営レポートの作成
推進委員会	・環境経営目標、環境経営活動の伝達 ・会社の意思統一、意見交換及び相互・全体評価の実施 ・各部門の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告 ・効果的な環境経営活動に向けての提案・意見の交換
部門責任者	・自部門における環境経営活動及び環境経営活動の企画・作成・実施 ・自部門における環境経営活動の実施、目標達成状況を委員会に報告する ・自部門に必要な手順書などの作成、管理 ・自部門の問題点の発見及び是正、予防処置を実施する
全社員	・環境経営方針、環境経営目標などの理解と自らの役割を自覚する ・自主的、積極的に環境経営活動に参加する

3.環境経営方針

基本理念

当社は事業活動を通して、環境保全と環境負荷の低減を積極的に推進し、持続可能な低炭素社会及び循環型社会の実現に向けての取り組みを行います。

基本方針

I.具体的に次の事に取り組めます。

1. 省エネルギーを推進し、二酸化炭素排出量を削減します。
2. 廃棄物の発生を削減すると共に分別を徹底し、再利用・再資源化を推進します。
3. 節水に努め、水使用量を削減します。
4. 化学製品を適切に管理し、環境に有害な物質の使用量を削減します。
5. 環境配慮製品の使用を推進します。
6. 事業所周辺の清掃活動を推進します。

これらについて環境経営目標、環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

II.環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

III.この環境経営方針は、全社員に周知するとともに社外に公表します。

制定日 2022年 3月 27日

株式会社三井エアーテック

代表取締役 三井 肇

4.環境経営目標

作成日：2022年4月1日

更新日：2022年10月1日

【各年度の対象期間は、環境年度 4月～翌年3月】

環境経営方針 番号	選択課題	基準年度	2022年度	2023年度	2024年度
		2021年度実績	目標値	目標値	目標値
		単位	基準年度比	基準年度比	基準年度比
1	二酸化炭素排出量削減 (CO ₂ 排出量)	111,012	109,902	108,792	107,682
		kg-CO ₂	△1%	△2%	△3%
	①電力消費量削減 (電気消費量)	127,563	126,287	125,012	123,736
		kWh	△1%	△2%	△3%
	②ガソリン消費量削減 (ガソリン消費量)	12,806	12,678	12,550	12,422
		ℓ	△1%	△2%	△3%
	③軽油消費量削減 (軽油消費量)	7,790	7,712	7,634	7,556
		ℓ	△1%	△2%	△3%
2	①産業廃棄物排出量削減 (廃棄物排出量)	2,540	2,515	2,489	2,464
		kg	△1%	△2%	△3%
	②一般廃棄物排出量削減 (可燃ごみ／廃棄物排出量)	945	936	926	917
		kg	△1%	△2%	△3%
3	水使用量削減 (水使用量)	282	279	276	274
		m ³	△1%	△2%	△3%
4	化学物質使用量削減と 適正管理	365	361	358	354
		kg	△1%	△2%	△3%
5	環境配慮型施工の推進	環境経営 計画の遵守	活動計画の遵守	活動計画の遵守	活動計画の遵守
6	社会貢献活動 (会社周辺の清掃活動)	-	月1	月1	月1
		回数	回	回	回
7	5S推進活動	-	週1	週1	週1
		回数	回	回	回
8	環境に配慮した製品づくり (不良件数)	-	36	35	34
		件	件	件	件

CO₂係数＝九州電力 2020年度 0.479kg-CO₂/kWh(調整後排出係数)

5.環境経営目標の実績と評価、次年度の取組内容

対象期間：2023年4月～2024年3月

評価基準：○100%以上 △90%以上100%未満 ×90%未満

環境 経営 方針 番号	選択課題	基準年度(2021年度)	2023年度 目標値	2023年度 実績	結果
		実績	基準年度比	基準年度比	
1	二酸化炭素排出量削減 単位：kg-CO2	111,012	108,792	107,002	○
		kg-CO2	△2%	102%	
		評価 次年度の取組	今期、目標の達成ができた。 今後も継続して取り組む。		
1-①	電力消費量削減 単位：kWh	127,563	125,012	109,250	
		kWh	△2%	114%	
		評価 次年度の取組	太陽光発電システムの設備導入を行いました。全従業員で節電に取り組んだ。 実績のうち、5,487kWhは、太陽光発電（自家消費）です。 継続して、無駄な消費を抑えるよう努める。		
1-②	ガソリン消費量削減 単位：ℓ	12,806	12,550	20,250	×
		ℓ	△2%	62%	
		評価 次年度の取組	県外(九州内)の現場が多く、今期も目標の達成ができなかった。 継続して、無駄な消費を抑えるよう努める。		
1-③	軽油消費量削減 単位：ℓ	7,790	7,634	3,861	○
		ℓ	△2%	198%	
		評価 次年度の取組	トラックを使用する頻度が減った為、軽油使用量が減少傾向にある。 継続して、無駄な消費を抑えるよう努める。		
2-①	産業廃棄物排出量削減 単位：kg	2,540	2,489	12,920	×
		kg	△2%	19%	
		評価 次年度の取組	構内と事務所の一斉清掃を行い、公共工事の受注も増えたため増加した。 継続して排出量削減に努める。		
2-②	一般廃棄物排出量（可燃ごみ） 単位：kg	945	926	703	○
		kg	△2%	132%	
		評価 次年度の取組	構内と事務所の一斉清掃し、古紙などの分別により可燃ごみは削減できた。 継続して分別を徹底し、排出量削減に努める。		
3	水使用量 単位：㎡	282	276	164	○
		㎡	△2%	169%	
		評価 次年度の取組	センサー式自動水栓を導入し、節水に努めました。 継続して排出量削減に努める。		
4	化学物質使用量 単位：kg	365	358	13	○
		kg	△2%	2752%	
		評価 次年度の取組	該当する化学物質の使用量が減った為、目標値の達成に至った。 今後も使用量削減に努める。		
5	環境配慮型施工の推進	-	活動計画の遵守	遵守しました	—
		-	(年間評価)		
		評価 今後の取組	実施できた。 継続して実施していく。		
6	社会貢献活動 単位：件（月）	-	1	1	○
		件（月）	回	回	
		評価 今後の取組	月1回の清掃活動の実施ができた。 継続して実施していく。		
7	5S推進活動 単位：件（週）	-	1	1	○
		件（週）	回	回	
		評価 今後の取組	週1回の職場一斉清掃の実施ができた。 継続して実施していく。		
8	環境に配慮した製品づくり 単位：件（不良件数）	-	35	3	○
		件（不良件数）	件	件	
		評価 今後の取組	今期も目標の達成ができた。 今後も継続して製作不良を出さないよう製造を行う。		

CO2係数＝九州電力 2020年度 0.479kg-CO2/kWh(調整後排出係数)

6.環境経営計画の取組状況とその評価

対象期間：2023年4月～2024年3月

基準：○できた △一部達成 ×できなかった

評価日：2024年 7月 3日

環境経営方針の番号	目標課題	具体的な行動（活動）	対象部門	評価
1	二酸化炭素排出量削減		全社員	
1-①	電力消費量削減	1. 昼休み・残業時に不要な照明を消す	全社員	○
		2. 帰宅時にOA機器の電源を切る	全社員	○
		3. 冷暖房設定温度の厳守	全社員	○
		4. エアコンフィルターの清掃	全社員	○
		5. ブラインドを活用し、遮光する	全社員	○
		6. 扇風機の活用	全社員	○
		7. 休憩時は機械の電源をOFFにする	全社員	○
1-②	ガソリン消費量削減	1. タイヤ空気圧の定期点検	全社員	○
		2. エコドライブ10の推進	全社員	○
		3. 急発進・急停車・急加速をしない	全社員	○
		4. 移動コースの効率化	全社員	○
		5. 法定速度の厳守	全社員	○
1-③	軽油消費量削減	1. タイヤ空気圧の定期点検	全社員	○
		2. エコドライブ10の推進	全社員	○
		3. 急発進・急停車・急加速をしない	全社員	○
		4. 移動コースの効率化	全社員	○
		5. 法定速度の厳守	全社員	○
2	廃棄物排出量削減		全社員	
2-①	産業廃棄物排出量削減	1. 産廃の分別を徹底する	全社員	○
		2. マニフェストによる適正管理	全社員	○
		3. 建設副産物の再資源化を行う	全社員	○
2-②	一般廃棄物排出量削減	1. ゴミの分別を徹底する	全社員	○
		2. プレビュー印刷の推進（ミスコピーの防止）	全社員	○
		3. 不要紙裏紙の有効活用	全社員	○
		4. 古紙，ダンボールのリサイクル	全社員	○
		5. 封筒の再利用	全社員	○

環境経営 方針の番号	目標課題	具体的な行動（活動）	対象部門	評価
3	水使用量削減	1. 節水の呼びかけ	全社員	○
		2. 漏水の点検・報告	全社員	○
4	化学物質使用量削減と 適正管理	1. 購入量・使用量の把握	全社員	○
		2. 購入・保管・使用・廃棄段階の適正管理	全社員	○
		3. 安全データシートの確認	全社員	○
		4. 作業効率の改善	全社員	○
5	環境に配慮した施工管理	1. 低騒音・低振動型建設機械の優先使用	全社員	○
		2. 燃費消費量の少ない建設機械の使用	全社員	○
		3. 工事現場近隣への連絡	全社員	○
6	社会貢献活動	1. 会社周辺の清掃 月1回	全社員	○
7	5S推進活動	1. 整理による必要・不必要の区別（事務所内・資材置場）	全社員	○
		2. 整頓による置き場・置き方・表示の徹底	全社員	○
8	環境に配慮した製品づくり	1. 製造工程での不良率低減	製造課	○

【次年度の重点課題】

- ・2023年度は、12月より太陽光発電（自家消費）を稼働させたことにより、購入電力量が減少して二酸化炭素排出量削減に効果的であった。
- ・年間を通した太陽光パネルの発電量を把握するため、2024年度実績を把握した上で、次期中期環境経営目標策定に反映させる。
- ・環境経営計画は、基本的には中期目標期間は継続するが、2024年度の活動では重点課題として以下のテーマに取り組む。

1. 自家発電に依存せず、節電は環境経営計画に沿ってしっかり取り組む
2. 産業廃棄物は、リサイクル率向上に着目する
3. 環境に配慮した事業活動として、不良削減注力する

7.環境活動状況報告

①節電掲示



②節水 … 自動水栓の使用、音姫の設置



③裏紙の有効活用



8.環境関連法令等の一覧表兼遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

作成日：2022年4月1日

更新日：2024年7月3日

評価者：環境管理責任者 三井 肇

関係法令	チェック項目	チェック方法	評価
廃棄物処理法	・産業廃棄物の保管基準	産廃の保管場所・表示	○
	・産業廃棄物の委託処理	許可証及び契約書	○
	・産業廃棄物管理票	5年間保管	○
	・マニフェスト交付状況報告書	報告書提出（6月）	○
浄化槽法	・法定検査	年に1回	○
	・定期点検、清掃	月に1回	○
フロン排出抑制法	・業務用エアコンの定期点検（室外機、本体）	定期点検年4回記録	○
	・コンプレッサー 定期点検	定期点検年4回記録	○
労働安全衛生法	・健康診断の実施	記録・管理	○
化学物質管理法	・化学物質のSDS管理、使用量把握	管理	○
建設業法	・工事業者登録と更新および技術者登録	・許可登録5年ごとの更新 ・資格者登録	○
騒音規制法	・特定施設の届出 ・規制基準の順守	・届出書 ・記録の確認	○
振動規定法	・特定施設の届出 ・規制基準の順守	・届出書 ・記録の確認	○

○当社に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

又、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

○外部からの環境に関する苦情等については、関係機関等から1件もありませんでした。

9.代表者による全体の評価と見直し・指示

評価日：2024年 7月 3日

評価者：環境管理責任者 三井 肇

環境情報		環境管理責任者の所見	代表者のコメント (次年度への取組)
1	環境関連法規等の遵守 状況確認結果	特に問題はなかった	継続する
2	環境経営目標の達成状況	特に問題はなかった	継続する
3	環境経営計画の実施状況	特に問題はなかった	継続する
4	問題点の是正、予防の 状況	特に問題はなかった	継続する
5	外部からの苦情の有無 及び対応結果	苦情無し	継続する
6	環境上の緊急事態の訓練結 果及び対応結果	訓練を実施した	継続する
7	その他	特に無し	継続する

と 代 表 者 の 指 示 内 容 見 直 し の 必 要 性 判 断	①環境経営方針	変更なし
	②環境経営目標	変更なし
	③環境経営計画	変更なし
	④実施体制	変更なし
	⑤環境経営システム	変更なし
	コメント	年々生産量が増加している状況の為、エネルギー使用量の削減は難しいが省エネ工法の導入などで今後も削減努力を継続して行なう。

株式会社三井エアーテック

代表取締役 三井 肇